

# 解答プリント「中学社会・歴史的分野」

## ■確認プリント

### 9 明治維新

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊦ (1) ペリー</p> <p>㊦ (2) 下田, 函館</p> <p>㊦ (3) 領事裁判権〔治外法権〕</p> <p>㊦ (4) d 生糸</p> <p>㊦ e 綿織物</p>	<p>1 (1) 幕府はペリーが軍艦を率いて来航することを、オランダの商館長からすでに知らされていたが、何の対策もとっていないかった。</p> <p>(2) 日米和親条約では下田・函館が開港したが、日露和親条約では下田・函館・長崎、日英和親条約では長崎・函館を開港した。</p> <p>(3) 第6条には、アメリカ人に対して法を犯した日本人は、日本の法律で裁くことも規定されている。</p> <p>(4) d 生糸とは、蚕を育て、その繭からとった糸を何本かより合わせたもので、絹織物の原料となる。</p> <p>e 産業革命によって安く大量に生産された良質な綿織物が輸入された。</p>
<p>2 ㊦ (1) 大政奉還</p> <p>㊦ (2) 薩長同盟</p> <p>㊦ (3) 王政復古の重大令</p> <p>㊦ (4) 戊辰戦争</p>	<p>2 (1) 大政奉還を徳川慶喜にすすめたのは、前土佐藩主の山内豊信である。</p> <p>(2) 1866年に、土佐の坂本龍馬・中岡慎太郎が仲立ちとなり、長州の木戸孝允、薩摩の西郷隆盛らの間で同盟が成立した。</p> <p>(3) 王政復古の重大令は、徳川家が政奉還の後も、政治的な影響力を残そうと考えていたのに対し、幕府を武力で倒そうと考えていた薩摩藩・長州藩らが計画して実現したものである。</p> <p>(4) 戊辰戦争は、1868年1月に起こった鳥羽・伏見の戦いに始まり、1869年5月に終わった五稜郭の戦いまで続いた。</p>
<p>3 ㊦ (1) 廃藩置県</p> <p>㊦ (2) 地券</p> <p>㊦ (3) 徴兵令</p>	<p>3 (1) 藩を廃止して、全国を3府302県とし、中央から府知事や県令を派遣した。これにより、それまで知藩事として旧領地を治めていた大名と領民との関係が完全に絶たれることになった。</p> <p>(2) 地券には、土地の所有者の氏名、土地の面積、地価、税率などが記されている。</p> <p>(3) 徴兵令は、富国強兵の方針にもとづいて定められたもので、20歳以上の男子に兵役の義務が課せられたが、戸主とその相続者、代人料270円を支払ったものなどは免除された。</p>